

令和7年度（2025年度）島根県立大学
国際関係学部 国際関係学科
国際コミュニケーションコース

一般選抜（前期日程）

小論文

【試験時間 90分】

以下の1から8をよく読んでその指示に従うようにしてください。
指示に従わない場合は、不正行為と見なしますので、注意してください。

1. 解答開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。許可なく問題冊子を開いた場合は、不正行為と見なします。
2. 試験時間は90分です。
3. 試験問題は、1ページから3ページです。解答開始の合図があった後、問題冊子を確認し、印刷不鮮明の箇所等があった場合は、直ちに申し出てください。
4. 解答用紙は2枚あり、問題冊子とは別になっています。解答は指定された解答用紙の解答欄に横書きで記入してください。
5. 受験番号、氏名は2枚の解答用紙の所定欄すべてに記入してください。
6. 問題冊子の余白を下書きに利用しても構いません。
7. 解答時間中の退出はできません。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

第1問

次の課題文を読んで、後の問いに答えなさい。

ここで取り上げるのは、キング牧師による公民権運動である。高校の世界史の教科書などにも出てくるので、みなある程度の知識は持っていると思うが、簡単にその経緯を説明しておこう。

1950年代のアメリカ、特にその南部においては黒人（アフリカ系アメリカ人）への激しい差別が行われていた。州の法律などにより隔離政策が実施され、学校、レストラン、公園、あるいは「ランチ・カウンター」と呼ばれる百貨店などにある飲食店といった様々な場所で黒人は立ち入りを制限されていたのである。

そんな中、1955年12月アメリカ南部のアラバマ州モンゴメリーで黒人による抗議活動が発生する。直接のきっかけは、ローザ・パークス（1913-2005）という黒人女性がバスの中で白人に席を譲るようにという運転手の指示を拒否したために逮捕されたという事件である。

この事件に抗議してモンゴメリーでは黒人たちによるバスのボイコット運動が発生する。バス利用者の多くを占める黒人がバスをボイコットすることでバス会社の経営に打撃を与え、差別的な隔離政策の見直しを迫ることを目指した運動であった。

マーティン・ルーサー・キング・ジュニア（1929-1968）、すなわちキング牧師は当時26歳であったが、この運動のリーダーとなる。キングはその卓越したリーダーシップと強い信念によりこのモンゴメリーの運動を成功させると、その後も「非暴力直接行動」の公民権運動を指導し、1964年の公民権法制定に代表される大きな成果を上げた。「私には夢がある」で始まる有名な演説を行った1963年のワシントン大行進では20万人以上の人々が黒人差別の撤廃を訴えて行進を行っている。

キングの主張を見てみよう。キングは黒人解放を目指す運動が非暴力の直接行動であるべきだと言う。「非暴力」とは文字通り暴力を用いないということである。デモなどの活動に対し、暴力的な妨害がなされたとしても黒人の側はあくまで非暴力を貫くべきだとされたのである。実際、大規模な抗議活動で知られるアラバマ州バーミングハムでの抗議活動においては、デモ隊に対し警察犬がけしかけられ、至近距離から高圧消火ホースで放水され、またキングの弟の家が爆破されるなど、公式にも非公式にも暴力的な妨害が加えられたが、それでもキングは非暴力を訴え続けたのである。

「直接行動」とは、ボイコットやデモ行進、ランチ・カウンターへの座り込みなどの直接的な抗議活動のことである。このような直接行動はしばしば法律や裁判所の命令に違反しており、違法行為となりうる。しかし、キングは裁判や選挙といった合法的プロセスのみではなく、直接行動に訴えることが必要だと考える。

その理由は、それが話し合いへの扉を開くからだというものである。直接行動なしには地域社会は話し合いに応じることはなく、黒人はただただいつまでも待たされること

になる。「非暴力直接行動のねらいは、話し合いを絶えず拒んできた地域社会に、どうしても争点と対決せざるをえないような危機感と緊張をつくりだそうとするもの」だとキングは言う。

（出典：大谷弘『道徳的に考えるとはどういうことか』（ちくま新書）筑摩書房、2023年、23-26頁。なお、出題にあたって、一部表現を改めたところがある。）

問

法律に従うことは、当たり前のことと考えられているが、キング牧師の活動は多くの法律を破る行為が含まれており、彼自身もそれによって投獄されている。それにも関わらず、彼の活動は多くの人々から支持されている。それでは、法律に従うことは、当たり前のことではないのか。あなたの考えを500字以上700字以内で書きなさい。

第2問

Students at the University of Shimane must ask questions in the field of International Communication and write a *graduation thesis before they graduate. The curriculum of the International Communication Course is designed to give students ideas, skills, research methods, and opportunities to learn more about problems in International Communication. If you were an International Communication Course student, what would you like to research by yourself? If you do not have a specific topic at this moment, write about your interest in International Communication, and how you would like to explore this interest at the University of Shimane. Your response should be about 150 words in English. If using a Japanese word is necessary, add an explanation in English.

*graduation thesis-卒業論文